

5/15

経済学部山崎ゼミ三回生アピール

我々山崎ゼミ三回生は5月6日、13日の2回のゼミ討論に基づき次のアピールを採択した。

緊急にゼミ代会議を確立し、自治
会・学部委員会の民主的再建をめ
ざして直ちに行動を開始しよう。

現在我々市大生は、ひどくみじめな状態におかれているのではないだろうか？ 我々は45年度経済専
門カリキュラムの改善を要求してきた。(山崎ゼミ直4、16アピール)ところが、先日(5/13)の学部委員
名と教務委員との大衆会見において明らかにされたことは何であつたか。すでに4回生ゼミ代が
時限にE専門科目を南講せよ等の要望書を小野学部長に出していたにもかかわらず、その後の教授
会では一切討議されていなかったのである。中教審の攻撃の中にあつて、我々は学部長、教授会のこ
のような学生無視の態度に憤りを感ずると同時に、重大な危険を抱かざるをえない。
以前の市大自治会は長年にわたる非民主的運営、ひき回しによって、本来の自治組織としての性格
が薄れ、学生から遊離していった。さらに昨年以降の一連の事態のなかで、多くの学生がバラバラに
され、無気力な状態が学園に蔓延した。先にあげた教授会の学生無視の態度を生み出したものは一つ
にはこのような学生側の状態であるといえるだろう。しかし、現在、そのような沈滞を打ち破る新し
い運動が多くの学部でおこつてきている。われわれは物言わぬ羊の群であつてはならない。あらゆる
部面を断固としてわれわれの要求と権利を主張していこう。
我々はもつとのびのびとした大学生活を送りたい。自主的な学内研究をすすめていきたい。ゼミ生
が自由に使える研究室が欲しい。勉学に対する新鮮な熱意が色褪せてしまうような大学であつて
はならない。だが現実の勉学、生活条件はどうか。カリキュラムはどうか。そこから出てくる要求、
権利の主張を守り発展させ学園を民主化していくのが、自治会であり学部委員会である。大学は社会
の不正義をあげき、矛盾をついて行かぬべからぬ。そうした課題について全学的に討論をまよこ
し、一致点で行動をおこしていく集約点としての組織が自治会である。われわれ山崎ゼミ三回生は、
そのような自治会、学部委員会の民主的再建を経済学部および全学の学友に心からよびかけるもので
ある。

- 一、新3回生各ゼミは直ちにゼミ代を送出してゼミ代
会議を確立し、学部委員会再建を推進しよう。
- 一、西川(3)、(4)、梅川(4)ゼミと共に学部委員会再建の
署名運動を広げよう。
- 一、Eジコニア各クラスは、討論に基づき緊急に学部
委員を送出しよう。
- 一、各学部で自治会の民主的再建をめざし奮闘しよう。